

# oyamokomo makes baby's product .



さがラボチャレンジカップ プレゼンテーション

妊娠・出産・育児を選ぶ女性を支えたい！！  
育児に対する過度な緊張感・ストレス  
から女性を護る  
～抱っこピロー-RACCO・ネドコBAG～



代表 山下千春

## これまでのストーリー

- ◆ イギリスの留学経験から子ども英語教室講師の道へ。  
海外では語学力だけでなく、未知へのチャレンジ精神が身に付いた。
- ◆ 英会話講師として勤務する中で母となり、子どもがいると思うように働けない…という壁にぶち当たり退職。
- ◆ 3人目の子どもを出産後、2010年自身で英語教室を開講。
- ◆ 2012年、自宅教室が手狭になり、現在の店舗を構え、英語教室移転と同時にオヤモコモをスタート。  
講座企画 親子カフェ ママたちのハンドメイド商品販売など、子育て中のあつたらいいな♪を1つずつ形に。  
子育て中の親子が気軽に集えるコミュニティが出来上がってきた。
- ◆ しかし 経営を成り立たせるのは難しく、資金繰りに苦しむ。  
経営の視点を持つことを決意。
- ◆ 子育て中の困りごとを商品の力で解決したい！  
これまで出逢ったママたちや育児の専門家のお話をヒント、商品企画のアイデアが湧いて来た。
- ◆ 2015年4月～自社商品開発を進め同年12月にRACCO&ネドコBAGが完成。2017年9月までの売上高は¥ 18,191,060。（月平均100万）



オヤモコモは2012年2月から高木瀬の住宅街に事務所兼  
コミュニティプレイスを運営しています。



会員数 現在177名スタッフ非常勤1名



# 親も子も両方に貢献する3つの事業

- **ベビーのための商品企画・販売**
- ベビー&ママ向け講師のためのシェアスペース、講師招致サポート
- ベビー&ママに関する企業・行政からの依頼

「脱孤育てのコミュニティスペース」 (2012年~2017年3月)

現在は「**ベビーの育ちをサポートするモノ・コトづくり**」という企業理念を打ち出しています。

(2018年2月創業月に株式会社へ移行する予定)





## 初めての自社商品

# 「RACCO & ネドコBAG」開発までの「ストーリー」

○2013年頃から、ミシンが得意なママたちと「トッポンチーノ」の販売  
しかし利益が出ない。購入者からのもっとこうだったら…の  
声。

### 【利益が出なかった理由】

1、オリジナルではないため、他のところが出している価格と  
合わせていく必要があった。

2、縫製が得意なママたちが1つ1つ手作りで大量には作れ  
ない。

(育児中のため負担になることは避けたいという気持ち)

3、作り方がいろいろなサイトで説明されているので、スペ  
シャル感がない。

### ～購入者から届いた声～

綿がへたってふんわり感がなくなる。サイズが小さいので生  
後2～3ヶ月までしか使えない。もう少し大きくしてほしい。



イタリア発祥の赤ちゃんのおくるみのことをトッポンチーノと呼びサイズやレースの位置などが決まっている。



# 主力商品が欲しいと思っていた時に、 「抱っこの専門家」辻先生と出会う。

- 赤ちゃんはまあるく抱っこしたり、寝かせることが大切だと知った。
- インスピレーションで商品イメージが湧いてきて、辻先生に商品監修を依頼。
- ※持続化補助金への応募と採択



## 持続化補助金のおかげで、プロの方達とお仕事ができた！

- 開発まで約半年間。プロダクトデザイナーにチームに加わってもらい本格的な商品開発。常に身近には赤ちゃんとママの存在があり、試作→モニタリング→改良を繰り返して完成。
  - 2015年12月に予約受付開始。目標の40個が完売。
  - WEB販売が中心。監修の辻先生にロイヤリティを支払いながら、先生の生徒であるママたちからの指示を受け、順調に売り上げている。
- 支援機関・専門家　そしてママたちのサポートがあったからこそできた!!



# 抱っこピロー-RACCO ネドコBAGの特徴



1



ネドコBAGの使い方♪

2



持ち手や、ベージュ色の部分を内側に折り込みます

3



頭側を30度、脚側を45度の角度になるように下にタオルなどを詰めて、RACCOを置きます

4



完成！



# 「背中スイッチ」という育児用語をご存知ですか？

胎児期～新生児期は子宮の中の環境に近づく、そして立ち始めまでは赤ちゃんの身体は未発達なので、大人と同じような平らな布団では体に負担がかかる。寝ぐずりをする。



# 赤ちゃんをまあるく寝せる他の商品 (持ち運べないものがほとんど)

フランス



日本



競合の「天使の寝床」  
32,184円  
約2.5kgから約8kgまで

日本



アメリカ







RACCO & ネドコBAGは、  
マザーバッグ・抱っこピロー  
小さなベビーベッドの3役をこなします。  
どこでも赤ちゃんの快適な寢床を準備して  
あげることができます。

これまでの販売実績

福岡天神イムズ3Fベ  
ビーとママのコミュニ  
ケーションショップHAPTY  
/アトリエサンティヤン東  
京店(目黒)

# 「RACCO & ネドコBAG」



- ◆ 特許取得の素材をRACCOの芯材として利用(洗える、へたれにくい)
- ◆ カバーには無添加の3層織りガーゼ、バイヤステープもすべて綿100

**point 1** マットレスの国内特許

胴部分が硬く しっかり支えます。	表面は滑らかで チクチクしません。	端が硬く へたりにくい。
---------------------	----------------------	-----------------

**point 2** しっかり支える構造

全体的に硬めの感触で、沈みがちな腰部分をよりしっかりと支える構造



# ネドコBAGは倉敷帆布を使用。オシャレ感と一生使える丈夫なトートバッグが実現

RACCO + SET  
ネドコBAG

大好評！  
パパが持ちたくなる♪

**LOVE Blue**

どんな服やシーンにも  
合わせやすい

**LOVE Brown**

春のウキウキ♪  
お出掛けしたくなる！

**LOVE Spring**

＼限定20個のみの販売／

こちらの商品は春限定、20個のみの販売です。  
売り切れ次第、販売終了となりますのでご了承ください。



# 2016年1月～現在までの売上げ額

売上

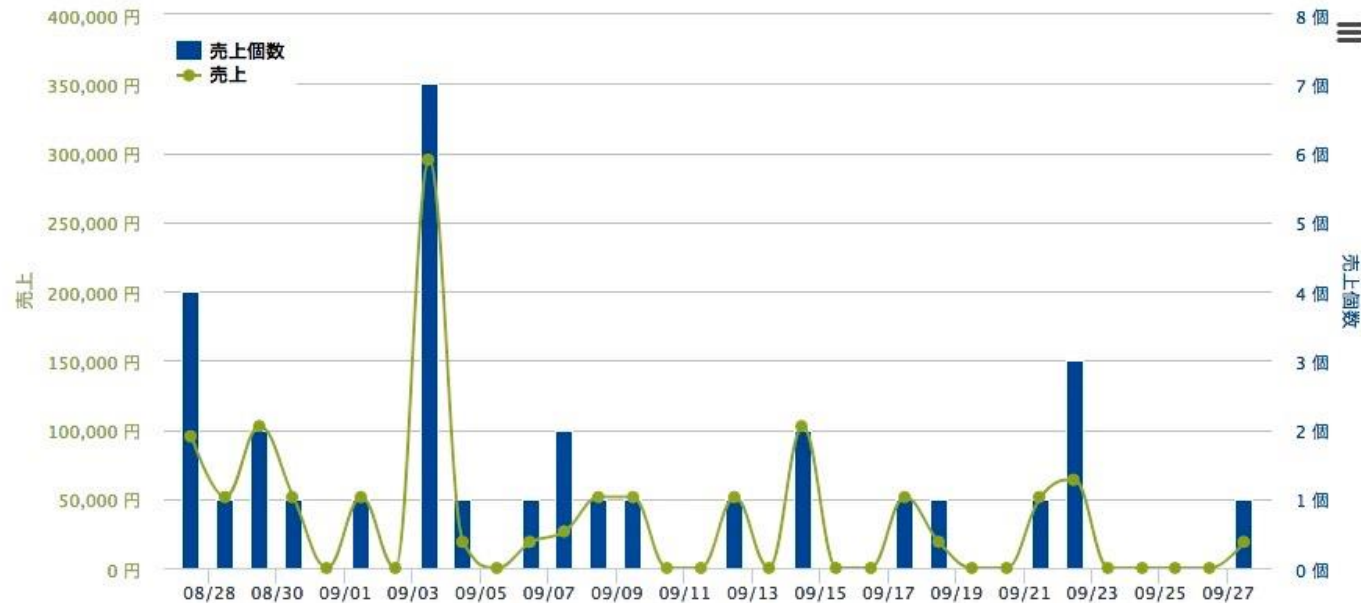
過去1ヶ月間の売上

¥ 1,171,528

累計売上 (?)

¥ 18,209,960

ショップ売上推移(1ヶ月間)



商品金額

RACCO 18,900円

ネドコBAG 32,400円

セット購入率 78%  
(顧客単価 5万円)

原価率 43%

首都圏の購入者が多い

2017年、佐賀県トリアル発注製品として採択。子ども未来課、アバンセに設置してもらっている。

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の返礼品に認定。

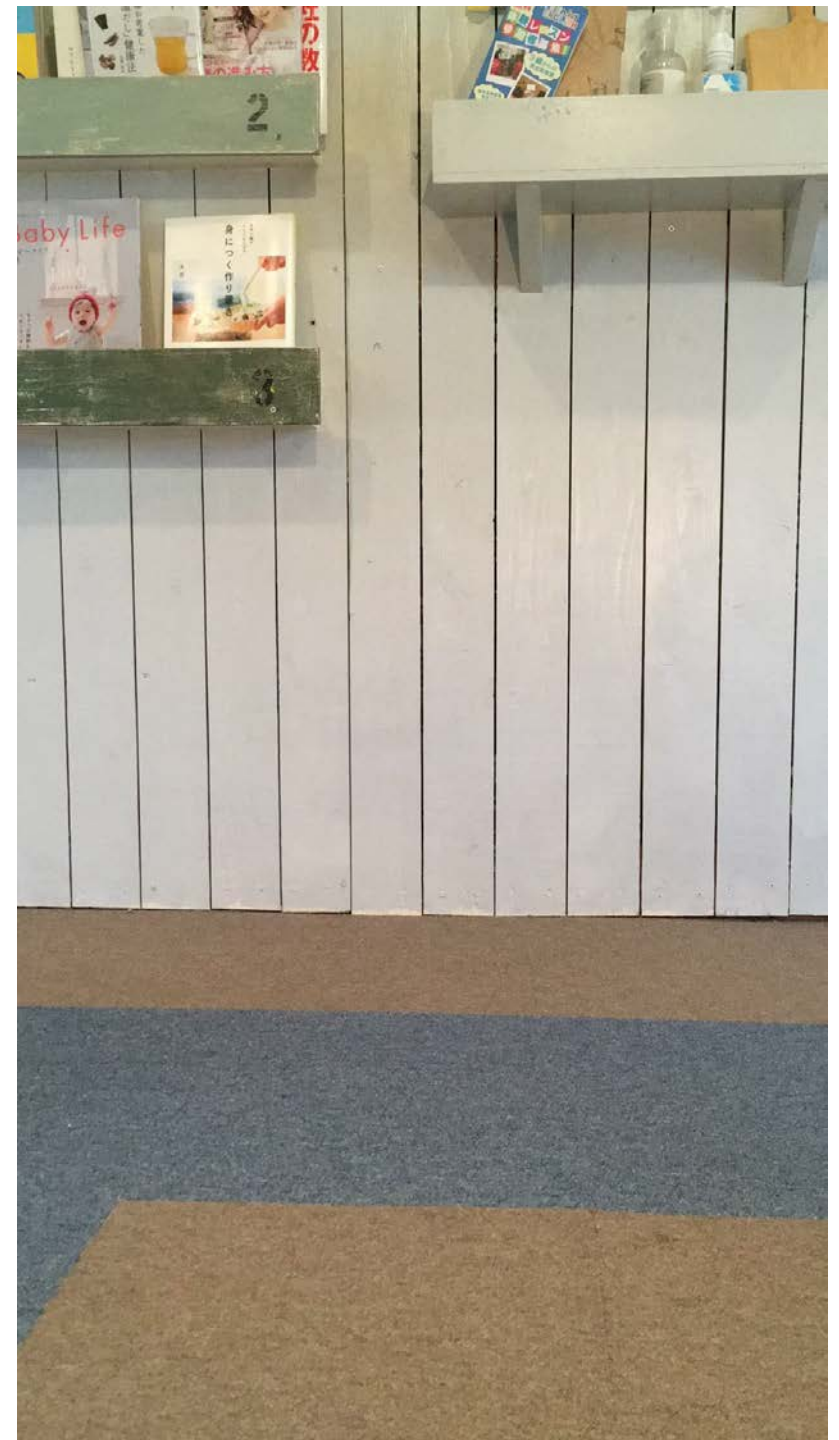
もう少し手に取りやすい価格にしてほしい、という要望が多く、商品改良にこの半年間で取り組みました。

廉価版として、世界最小  
ベビーベッドをリリース予定  
(2017年10月中旬)  
価格/ 19,440円 (税込)



「世界最小ベビーベッド」

- ◆ “世界最小”をアピール
- ◆ ベビーカーメーカーとのコラボ



# 3年後の売上目標

商品	現在までの売上高累計	3年後の年間売り上げ高
RACCO & ネドコBAG	18,000千円	30,000千円
世界最小ベビーベッド		20,000千円
計	18,000千円	50,000千円

「RACCO & ネドコBAG」

「世界最小ベビーベッド Bed "n" Bag (仮)」

⇒プロモーション拡大で認知度アップ

(現在はほぼSNSのみでの広報) 大手ベビー用品メーカーとのコラボ実現。

アウトドアショップ、百貨店などで販売したい。



消費者であるママたちに伝える活動  
= 赤ちゃんの健やかな成長 そのため  
に大切なこと

ママたちを応援する取り組みとして、学  
びの場の提供(講師招致活動)、  
妊娠・出産を前向きに明るく捉えること  
ができる社会を目指してマタニティパー  
ティなどに取り組んでいます。

収益を得つつ 親子コミュニティを全国  
に作っていききたい。  
これからも困っているママたちに寄り添  
いたい!!

(第三種郵便物認可)

# 妊娠祝ってママ宣言

## 「バルーンエッグパーティー」15人交流

佐賀市 妊娠を祝い、出産・産後の不安を和らげようと、バルーンエッグパーティー」が10日、佐賀市のホテルマリタール創世で開かれた。妊婦15人が参加、ゲームや記念撮影を通して、産前に抱える不安な共通の会話を交えながら、人生の節目のセレモニーを楽しんだ。



記念撮影などで交流し、パーティーを楽しむ参加者たち—ホテルマリタール創世

### ゲームやトーク 不安和らげ絆づくり

パーティーは、子育て中の女性たちのコミュニティを運営する佐賀市のオヤモコモと、同ホテル、アトリエ木下が共同で開催した。自己紹介の後、共通点探しやお腹のサイズ当てなど、県内の先輩ママたちが考えたゲームを楽しんだり、「どんなママになりたいか」を一人ずつ宣言するセレモニーなどがあった。

共通の話題で盛り上がった。記念撮影などで交流を深め、参加者同士のつながりを生んでいた。また、助産師の秀坂あいさんとママフォトグラファーやまぐちゆかさんによる、産前産後のケアなどについてのトークショーも行われた。

夫の勧めで参加した小城市の浦上翔子さん(29)は「妊婦さん同士が集まる機会は意外と少ないのでうれしい。産前の不安も和らぎ、産後のつながりにもなるのもっと広がりた」と笑顔で語った。

妊娠を祝うパーティーは米国では「ベビシヤワー」という名称で定着しているが、日本ではあまり根付いていないという。

今回のパーティー名は佐賀を連想させる熱気球とお腹の丸みのイメージから名付けた。(南和典)

自己紹介やゲームで共通の話題をかわしながらパーティーを楽しんだ

2017年9月10日にホテルマリタール創世さんで開催

## これからの展望



大阪で8月末に開催

RACCO & ネドコBAG

- ◆ 辻先生を知らないセグメントにも販売していきたい。  
首都圏等大都市圏での人気。プロモーション次第だと感じる。
- ◆ 産後の不安を抱えるママたちのサポートも付加価値としてやっていきたい。(現在、東京・大阪・長野・岡山・福岡・佐賀でユーザーさんの交流会と購入検討中の方のミニセミナーを開催中)
- ◆ 商社経由で販路開拓 もっと多くのママたちに知ってもらいたい!!

経営資源が限られている私たちに力を貸して下さい!!!